

NPO法人
子どもセンター / パオ

Newsletter

vol.18

「ぴあ・かもみーる」日記② ●
パオ6周年記念イベントリポート ●
教えて！ばおぞうさん ●



パオの
現いま

「ぴあ・かもみーる」日記 ②

ステップハウス「ぴあ・かもみーる」が開所してから、あと数ヶ月で1年が経とうとしています。施設も変わり、スタッフやボランティアさんも変わり、新しい生活が始まりました。

スタッフとして、シェルター時と大きく変わったなと感じたのは「支援をする時の考え方」です。シェルター時には「子どもとの生活（安心・安全）」にのみ目を向けており1日をどう過ごすか、安心できる環境とはと考えながら日々を送っていました。時の流れはゆったりとしているものの、ほぼ1日中同じ空間で過ごしていたため内容の濃い1日だったように思います。

「ステップハウス」では、自立に向けてステップを踏みうとしている子ども達にどんな力が必要か、1年で何ができるのかと1日をただ「安心して過ごせる」だけではなく少しでも子ども達の力になる日々を送りたいと頭を抱える日々を送っています。パオの理念として私が素晴らしいなと感じている点は「子どもの意志を尊重し強制はしない」ところなのですが、それがまた難しい点でもあるなと実感しています。定員も「2名」から「5名」に増え、屋内の活動だけではなくバイトや実習に出かける子ども達もいるので目まぐるしい日々を送っており1日が24時間では足りないなあとバタバタの毎日です。

現在ぴあ・かもみーるには4名の利用者さんが在籍しています。

A子さんは「実習→研修」とステップを重ね、現在は通勤に1時間かけて希望していた軽作業のアルバイトに励んでいます。A子さんの悩みとしては、TVを見る時間がないことだそうです、目標の為に頑張っています。

B子さんは9月末の退所を目標としており、各機関で必要手続きをする日々を送りつつ、ウィークリーマンションで一人暮らしの体験をしています。全くの一人暮らしなので心配でありませんが1日の終わりにメールが入っているのを見るとホッと安心します。

C子さんは現在週4日実習に通っており、実習先での作業

や人との関わりを通して、「信頼」や「責任」などについて、良い学びをしているように思います。日頃の実習態度が高く評価され、先日は実習先の方々に同行し、遠方まで実施研修に参加しました。毎日、電車とバスを乗り継いで実習に通っているのですが、人なつこく快活で、色んな事に興味津々なC子さんです。

D子さんは入所されたばかりなのですが、明るくふわふわとした優しい印象を受ける子です。これから先のD子さんの生活については、自分の思いを大切にしながら、焦らずに色々な方と相談しながら一步步ステップを踏んでいってほしいなと思います。

本当に一人ひとり個性的な子ども達ばかりなので一緒に生活を送っているととても楽しくもあり腹も立ち、充実しどっと疲れと1日1日が新鮮です。「怖い」と言われると少し凹んだりもしますが、怖いと言いつつも甘えてきたり、手作りお菓子でもてなしてくれたり、1日に1回は「可愛いな」「この仕事してて良かったな」と感じさせてくれる素敵なお仲間さん達との日々を沢山の支援してくださっている方々と共に築き、彼女たちの輝かしい未来に繋がれば良いなと思います。そして少しでも彼女たちの力になれるよう、私ももっともっと色々な力を蓄え、提供できるようにしたいと思います。(スタッフI)

